自振・クレジット・コンビニ

自振り・クレジット・コンビニ払いの読者の売上げを好きなタイミングで立てることができます。 集金の発証とは時期をずらして、自振り・クレジットはデータ送信時、

コンビニは払込書発行前など、必要な時に発証計算をすることができます。





自振読者の発証と入金の消込をおこないます。 AHSとの自振りだけでなく、 郵便局や銀行との直接のやり取りにも対応しております。

メインメニューの中の 3 自振処理 を開くと、 右側に自振りに関するメニューが表示されます。

基本的にはメニューの上から下へと 順番に行っていくように配置しています。



AHSの新規の自クレ読者のリストは こちらから取得します。

クレジット

クレジット読者の発証と入金の消込をおこないます。

クレジットの場合は 発証計算から送受信までのメニューが1列で表示されます。

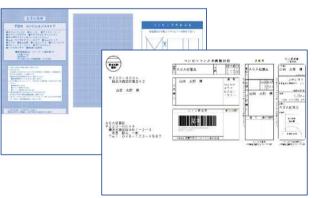
自振と同じように、上から下へ作業を行っていきます。





コンビニ読者の発証を立て、コンビニ払込書の印刷をします。 コンビニデータ受信後は入金の消込を行います。





コンビニ払込書は圧着ハガキの印刷に対応しております。